

# 文学のまちづくり

コーディネーター：小田原の文学に光と風を送る会

## 取組の背景

小田原文学館では桜の開花時期にあわせ「観桜会」を開催し、出店、茶席やコンサートなどが企画されてきました。

観光客等が小田原文学館を訪れて桜を楽しんでもらうことだけでなく、小田原文学館を拠点とした独自の情報発信が必要と考えました。

## 活動の狙い

小田原は、数多くの文学者が居住し創作の舞台ともなったことに光を当て、小田原の文学やそれらを培った風土や歴史・文化などについて小田原文学館を拠点に情報発信を行うことにより、「文学のまち・小田原」のイメージを定着させ本市の文化や経済観光の発展に寄与します。

市内の文芸愛好団体等が参加することにより、市民の潜在力を引き出すとともに、団体間の交流を通じて各団体の活動に寄与します。

## 活動の成果

### (1) おだわら文学散歩マップ

市民や観光客に配布することで、「文学のまち・小田原」のイメージを高めることができました。

### (2) 西海子サロン

実行委員会委員長の田中美代子氏の文学に関する知識と人脈を生かし、多彩な講師を迎えて小田原の文学者にかかる講演会を開催することができました。

小田原文学館を会場とした文学館カフェやその他の催しについては、実行委員の創意により企画・運営することができました。

各回のテーマに小田原出身やゆかりの文学者を選ぶことにより、これらの文学者の存在を市民や県内外の住民に知ってもらうことができ、リピーターも定着しました。

開催により、小田原文学館の観覧者数の増加に貢献でき、これらの経験を、各団体の活動に役立てて行くことができました。

### (3) 柳川市との交流

平成24年11月に柳川観光大使・原達郎氏との結びつきで実現した柳川市訪問にあたり市長の親書を持参し、本市と柳川市との北原白秋にちなむ交流の糸口を付けることができました。

## 今後の展望

小田原の文学者の顕彰と作品普及については、これからも継続的な取組みが必要です。

西海子サロンについては、小田原の文学者についてのテーマ設定も概ね一巡したので、講演会主体の開催の形態から行政と市民の新たな協力関係が築けるような形態に見直しを図ることとします。

特に西海子サロン参加団体間の交流を重視し、交流の中から小田原の文学に関する新たな情報発信の取組が生まれるよう活動を引き継いでいきます。

## 参考URL

<http://bungakumachidukuri.blogspot.jp/>





## 取組の経過

平成22年1月29日

### 文学のまちづくりキックオフ

キックオフイベントとして、文学講演会「明るい方へ」を開催。講師として太田治子先生をお招きしました。

平成22年度・23年度

### おだわら文学散歩マップの作成

平成22年度・23年度にわたり、白秋童謡の散歩道や文学者にかかる旧跡などを地図に表示し、それらを巡る文学散歩のコースを設定して観光客等に活用してもらえるよう作成しました



### おだわら文学散歩マップ

平成23年10月23日～

### 西海子サロンの定期的な開催

平成23年10月23日の第1回西海子サロンから、のべ7回にわたって開催しました。(年2回)

毎回、異なる小田原の文学者をテーマに取り上げた講演会、文学館カフェ、文学作品の朗読や白秋童謡のコーラスや文学散歩など、楽しくまた文学作品に親しみを感ずることができる行事となりました。



第1回西海子サロン山根基世さんと高橋一清さんの対談



第2回西海子サロン(湘南白秋まつり) 白秋シンポジウム



平成24年11月2日 柳川市訪問

小田原市長親書贈呈式(中央は金子柳川市長)